



辻家庭園 別邸

建築概要

本建物は、金沢市指定文化財名勝・辻家庭園内に増築した小さな会場です。

2013年12月、既設主屋の改修工事とチャペル・バンケット棟の増築工事により、主に結婚式場として新しく生まれ変わった辻家庭園。

結婚式場という特性から土日、祝日は貸切として運営していましたが、訪れた市民や観光客の方々から、もっと気軽に利用できる場所がほしいと意見が寄せられるようになりました。

敷地は、庭園への影響を最小限に抑える事が可能な庭園隅の駐車場内（旧住宅・物置の跡地）の範囲内としました。敷地内側は庭園景観との修景、外側は寺町特有の寺社風景の町並みとの修景といった両面に配慮しました。

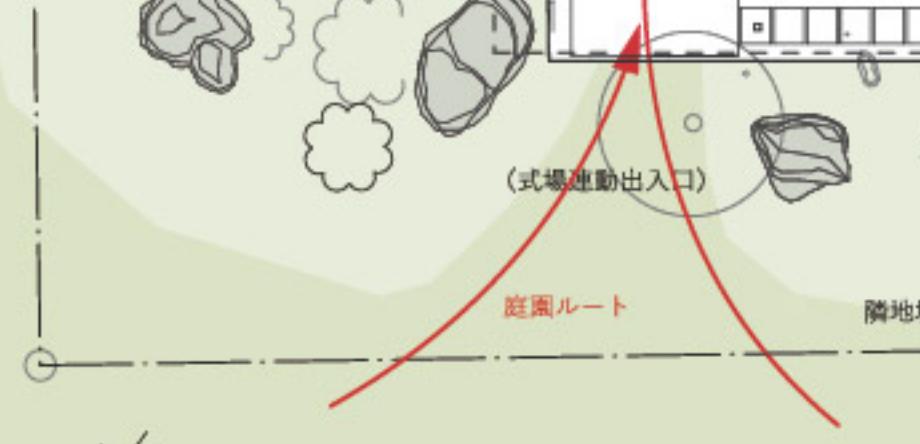
寺町の街並みへの配慮

コンパクトにまとめた施設構成としました。旧住宅のようなスケールで居室をまとめ、周囲への影響が最小限となるように配慮し周辺住宅に合わせた建物ボリュームとっています。外観は落ち着いた色調でまとめ、寺社風景の町並みに合わせた寺町らしい建物ファサードとなるよう努めました。

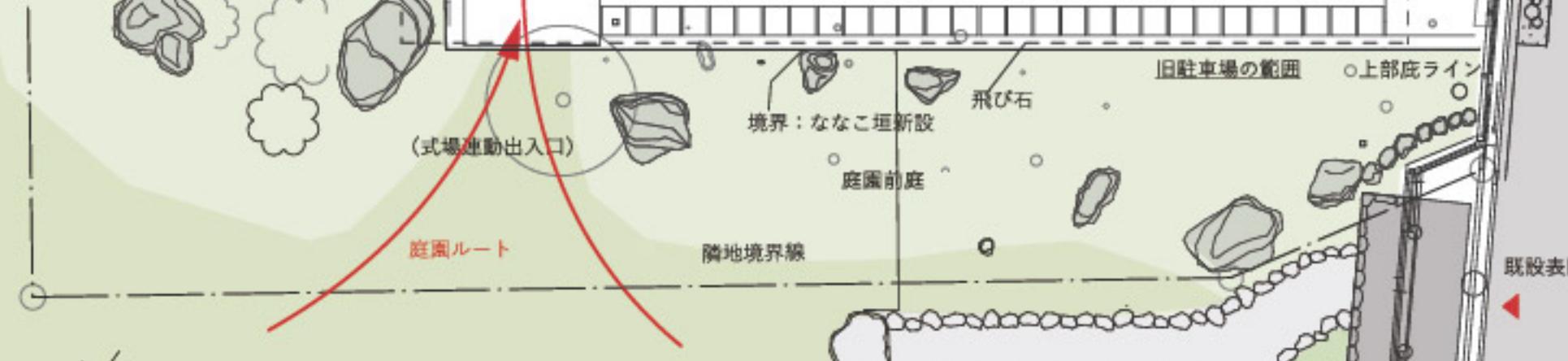
庭園景観を維持しながら、その魅力を新しい視点から体感し思い出の場所をつくる

月日を重ねた辻家庭園という歴史的環境に溶け込むような施設外観を目指しました。屋根・軒先は既設主屋の日本建築様式を継承し、鉄骨部材を加工し木造のような華奢であり繊細さを出すことで新旧の調和を図っています。また軒の深い陰影は現代和風の佇まいを提供しており、庭園樹木と合わせて壁面に影を落とし圧迫感を低減しています。一階の階高や天井高さは既設主屋に合わせ空間の連続性に配慮しています。

庭園に面する一階の外壁は前庭の背景となるようにコンクリート壁のビシャン仕上げとしました。二階はガラスの囲いで庭園景観に溶け込みます、夜間は内部意匠が樹木の隙間から顔を出すようなイメージとしました。



前面道路より見る



庭園より見る



歴史と文化を象徴する金沢らしい場所

内部は市指定文化財の庭園や国登録文化財の主屋に合わせた品格のある現代和風の佇まいを目指しました。1Fガラス面から除く坪庭、作庭された別邸の新しい庭園ルート、箔職人による金箔の壁面仕上げ、田鶴浜建具、金沢を拠点とする作家の工芸品の展示等、多くの技能に触れる空間を目指しました。訪れた方々に辻家庭園と金沢の魅力を発信します。

別邸は、既設主屋と庭園全体を見渡す事ができる。庭園内で一番高いフロアレベルとなります。

そこは犀川や小立野台地を見渡せることができます、室内から景色を楽しむことができる辻家庭園の新しい魅力となっています。辻家庭園は寺町台地の高低差16mの斜面を利用した自然式庭園が特徴です。その為、悪天候の場合や庭園ルートの散策が困難な車椅子の方々、お年を召した方々においても利用可能なユニバーサルデザインに配慮した施設としました。

